

	山口大学 社会科学分野
学部等の教育研究 組織の名称	経済学部（第1年次：385名） 経済学研究科（M：26名）
沿 革	明治38（1905）年 山口高等商業学校設置 昭和19（1944）年 山口経済専門学校改称 昭和24（1949）年 山口大学経済学部設置 昭和50（1975）年 経済学研究科設置
設置目的等	昭和24（1949）年に、自ら問いを見だし、解決の方策を探求する能力及び意欲を持ち、世界及び社会に貢献し得る実践的経済人を育成することを目的として、経済学部が設置された。 昭和50（1975）年に、経済、経営、法律、観光等の社会科学の分野における高水準の教育研究を行うとともに、当該分野の高度専門職業人を養成することを目的として、経済学研究科が設置された。
強みや特色、 社会的な役割	<p>【総論】</p> <p>山口大学における経済学分野においては、真理の探究を図るとともに、山口県を中心とした中国地域における課題解決の役割を果たすべく、教育研究を実施してきた。</p> <p>引き続き、上記の役割を果たしながら、教育及び研究において明らかにされる強み・特色・役割等により、学内における中長期的な教育研究組織の在り方を速やかに検討の上、実行に移す。</p> <p>【教育】</p> <p>（学部）</p> <p>○ 経済学の学問分野の教育研究を通じて、基盤となる専門知識を修得し、自ら課題を発見し、解決の方策を探求することのできる能力、また、その結果得られた知見や考えを伝えるコミュニケーション能力を有し、広く社会で活躍できる人材を養成する。</p> <p>○ このため、簿記やミクロ・マクロ経済学を必修化するとともに、1年次からのゼミナール教育や演習により主体的な学修の推進に取り組んでいる。また、監査、税務、コンサルティングなどの専門知識を修得させる「職業会計人コース」を開設し、特色をいかした実務的な教育を行っている。</p> <p>○ これらの取組を通じて、現役学生を含め毎年度公認会計士試験で合格</p>

者を出しており、平成 25 年度実績で合格率 21.4 % (全国平均 8.9 %) と全国合格者を大きく上回っている。また、全国大学対抗簿記大会において、団体戦及び個人戦ともに優れた成績を収めており、日本公認会計士協会賞を受賞するなどの結果を残している。

- 今後、卒業時に必要とされる資質や能力を可視化しつつ体系的な教育課程を編成するとともに、「職業会計人コース」などの特徴的な教育コースの充実を図り、学生の能動的学習を促す教育の実施や組織的な教育体制等を整備する。また、これらの取組の実施だけではなく、可視化した資質や能力に応じた取組の成果や効果等を適切に把握していくことにより、学士課程教育の質的転換に取り組む。

(大学院)

- 経済学領域の専門的知識を身に付け、課題探求・問題解決・情報分析などの能力を有し、自らの考えや意見を論理的に説明できる専門職業人を養成する。
- このため、発展途上国の留学生を対象に英語で授業を行う「公共管理コース」や福祉・医療系の現職者ニーズに対応した「医療・福祉経営コース」において、実践的な教育を推進している。
- 今後、英語による教育の充実を図るなど、社会人、留学生を含め、時代の動向や社会構造の変化に的確に応え、課程制大学院制度の趣旨に沿った教育課程と指導体制を充実・強化する。

【研究】

- 経済学等分野における研究実績をいかし、山口高等商業学校以来の伝統である東アジアの経済研究に取り組むとともに、地域のシンクタンクとして地域活性化対策や観光客動態分析などの研究にも取り組んでいる。
- 今後、東アジア、東南アジア地域の公共管理、医療経営、観光経済等の分野横断的かつ総合的な研究を組織的に推進するとともに、山口県を中心とした中国地域の課題解決・文化の発展に組織的に取り組む。

【その他】

- 全学的な機能強化を図る観点から、18 歳人口の動態や社会ニーズを踏まえつつ、教員の再配置を行うとともに、学部・大学院の教育課程及び組織の在り方、規模等の抜本的な見直しに取り組む。